

## 令和4年度第1回高知市中小企業・小規模企業振興審議会 会議録

1 日時 令和4年10月26日(水)9:30~11:45

2 場所 高知市たかじょう庁舎6階 大会議室

3 出席者〔委員〕※敬称略

池澤研吉, 岡林成海, 梶原太一, 土居秀臣, 中澤純治, 中田由季, 中田陽子,  
永野正将, 西村幸祐, 東牧原信彦, 森田健嗣, 森本麻紀, 吉田佳史

ー以上, 委員13名出席で審議会成立

(欠席:猪野文章, 西村利昭)

〔事務局〕

商工観光部:今西部長, 山脇副部長

産業政策課:福富課長, 小田課長補佐, 小菅係長

商工振興課:高橋課長

4 議題

- (1) 高知市中小企業・小規模企業振興条例について
- (2) 高知市中小企業・小規模企業振興戦略プランの策定について
- (3) その他

5 配布資料

- (1) 会次第
- (2) 高知市中小企業・小規模企業振興審議会委員名簿
- (3) 配席図
- (4) 【資料1】高知市中小企業・小規模企業振興条例パンフレット
- (5) 【資料2】高知市中小企業・小規模企業振興戦略プランの策定について
- (6) 【参考資料1】高知市中小企業・小規模企業振興条例
- (7) 【参考資料2】高知市中小企業・小規模企業振興審議会規則
- (8) 【参考資料3】(仮称)高知市中小企業振興条例の策定に向けたアンケート調査の結果について(令和3年11月)

【会長・副会長選出】

委員の互選により, 会長・副会長が次のとおり選出された。

会長 : 中澤委員

副会長 : 池澤委員

## 6 審議内容

### (1) 高知市中小企業・小規模企業振興条例について(資料1)

〔中澤会長〕

資料1のパンフレットは既に配布され、周知に使われているのか。

〔事務局〕

まだ配布は行っていないが、条例の紹介のパンフレットとして今年実施するアンケート等に同封等を行いながら周知を図っていきたいと考えている。

〔中田(陽)委員〕

資料1の最後のページ【施策の推進に関すること】の「財政上の措置」について、基金を設置しているということであったが、その基金をもとにこの計画があるのか。

〔事務局〕

高知市中小企業・小規模企業振興基金として、現在 3,500 万円を積み立てている。基金のみを原資として中小企業・小規模企業の振興を行うという意味ではなく、必要な予算等は要求していく。

〔梶原委員〕

資料1のパンフレットについて、右上に男性が二人並んでいる。多様性がないので女性を入れてみてはどうか。

〔事務局〕

ご意見を踏まえ、検討する。

〔永野委員〕

条例制定に当たってパブリックコメントを行ったと思うが、何か意見等があったのか、また、意見等がどこかに反映されているのか。

〔事務局〕

パブリックコメントではいくつかご意見をいただいたが、特段それで条例が変更になるという内容ではなかった。いただいたご意見は今後施策に反映していきたい。

(2)高知市中小企業・小規模企業振興戦略プランの策定について(資料2 P1)

〔中田(由)委員〕

アンケート調査は、どのように送付するのか。

〔事務局〕

市内 1,600 者程度の事業所に対して、郵送とインターネットで回答できる形で実施予定である。

〔中田(由)委員〕

アンケートは回収率を上げるのが難しいと思うが、アンケートを書きたくなる方法等を何か考えているのか。

〔事務局〕

昨年度、条例を作ったときに同じ手法でアンケートを実施したが、その際の回答率が 44.4%と高い回収率であったので、企業の皆さまには興味を持っていただいているのではないかとの認識である。

今回も同じ方法で実施する予定であるが、昨年度同様、比較的容易に回答できる web 上のフォーマットも用意して対応していくので、前回のアンケート時に近い回収率が見込めるのではないかと考えている。

〔森田委員〕

計画策定後、5年ごとに戦略プランに検討を加えていくということであったが、その5年間の中ではそれぞれの進捗状況等をどのような形で確認していくのか。

〔事務局〕

戦略プランについては、5年ごとに改定等を行う予定であるが、毎年の進捗管理についても成果等を審議会にお諮りし、ご審議をいただく予定である。その中で事業の組み替えや再構築を行っていきたいと考えているので、その都度ご意見、ご提案をいただければと思っている。

(3)高知市中小企業・小規模企業振興戦略プランの策定について(資料2 P2~P12)

〔池澤委員〕

P4の「3 高知市の中小企業・小規模企業の状況」の中で、事業所数は減少しているが従業者数は増加しているというのは、どう考えたらよいのか。

〔事務局〕

現時点で詳細な分析までには至っていないが、例えば非正規雇用が増えているとか、ワークシェアリングが進んでいるといったことも考えられる。明確な答えがないため、これから研究していきたい。

〔梶原委員〕

P5「(4)従業者規模別事業所数及び従業者数」について、経済センサスだと大企業の1支店も1事業所としてカウントしていると思う。大企業で働く人も、数値的には中小の事業所で働いているという認識になるのか。

〔事務局〕

経済センサス上では、1事業所としてカウントされるが、我々が取り組んでいる施策の中では、その取組の一つ一つについて、対象要件が設定されているため、合致する、合致しないが出てくる。

また、雇用確保の観点から見ると、市域で働いている市民の皆さんの雇用を維持していくという施策は、当然対象になるという認識だ。

〔永野委員〕

資料2の P6～P8について、2016 年とデータがかなり古く、コロナ禍で状況が変わってきていると思う。新しいデータはまた出てくるのか。

〔事務局〕

該当のデータについては、国が作成した RESAS というシステムで数値を拾い上げている。その元になるデータが作り替わるとこのグラフが更新される。

経済センサスも令和3年度の調査についてはまだ確報値が出ていない状況であり、それが出た場合には同様に分析ができると思っている。

〔吉田委員〕

世界的に変動が大きい時期であるため、この戦略プランを決めていく段階ではリアルタイムの数字を拾い、分析を進めていくことが必須だと思う。高知市の中小企業・小規模企業のために何をすべきかスタートがずれてしまうとゴールが大きくずれてしまうので、現状把握を綿密にやるべきである。

〔事務局〕

おっしゃるとおりである。条例は大きな方向性を示す器であるが、戦略プランはいかに実際の経済の状況に即したものを作っていくかが重要となる。今後アンケート等も行いながら進めていくので、皆様のご協力をよろしくお願いしたい。

〔中澤会長〕

統計に関してはどうしても更新が遅くなってしまう。経済センサスも確報まで出ると各市町村のデータを取れると思う。確報が出たら事務局から委員の皆さんにご紹介いただきたい。併せて、それぞれ委員の皆さんがお持ちの情報も出せる部分は出して集約し、資料にまとめられるように協力体制が出来たらと思うので、よろしくお願いする。

〔岡林委員〕

資料2の P8「(3)産業別特化係数」のグラフの業種について、製造業に当たる部分が「パルプ・紙・紙加工製造業」の紙製造関係のみとなっているがなぜか。

〔事務局〕

RESAS から引き出されたもので、製造業を特に選別したものではない。RESAS のシステム上、グラフにあがってきているのが「パルプ・紙・紙加工製造業」のみということである。

〔中澤会長〕

保健衛生から自動車整備業までのグラフは特化係数の付加価値額という観点でソートされているが、どういう順番で並んでいるのか。

〔事務局〕

「付加価値額(企業単位)の特化係数」の順で並んでいる。

〔中田(陽)委員〕

戦略プランを5年間で実施するのであれば、5年後の予測値のようなものを出してみてもどうかと感じた。

また、P3の図5高知市の「地域経済循環図(2018 年)」では民間投資額について、投資が外部に流出していることが示されているが、これを踏まえて P6の「付加価値額(企業単位)」の「金融業、保険業」について、高知市全体で産業的に金融業と保険業が付加価値を大きく持っているけれども投資がされていない状況があるのか。

〔事務局〕

5年後の予測については、今年度末までに戦略プランを作るという中での予測となると、過去のセンサスや全国の傾向のみをもって作るということになり、精度の高い予測を出すのは難しい。従業員数や事業所数の増減等、傾向としての予測しか出せないだろうという点をご理解いただきたい。

〔吉田委員〕

金融機関としては、2018 年頃は新たな投資は控えていたかもしれないが、今後については、再エネや太陽光発電、クリーンエネルギー化の投資についてなど、金融機関として積極的にやっていく方針であり、民間投資等を後押ししていきたいと思っている。

地域の事業所の設備投資等の地域外への流出については、県外というよりも、南海トラフの津波対策で高知市から南国市等周辺の市町村に移転しているということも大きいのではないかなと思う。高知市内では、津波が来ない地域で事業所や工場を移転できる土地もないということもあり、投資額的に大きくなる事業所や工場の移転は周辺市町村へ流れていっている事実があると思われる。

〔永野委員〕

P12 のアンケートをみる限り中小企業・小規模企業振興条例に対する戦略を考えるためのアンケートであるということが見えてこないと感じた。ただ単に現状分析するためのものに見えるので、少し変えてみてはどうか。

〔事務局〕

アンケートの実施の際には、資料1のパンフレットも同封してお願いをしていきたいと考えている。また、アンケートの中でも、事業所の方々の経営上の課題や今後行おうとしている取組等についても伺いながら、高知市としてどのような支援ができるのかということについて、クロス分析等を用いながら検討をしていきたいと考えている。

〔西村委員〕

参考資料3の令和3年度に行ったアンケート結果について、事業形態を見ると個人事業主と回答した方は 0.7%という結果で、回答している会社は法人が多い。小規模事業主は割と個人事業主が多いと認識しているが、意見の吸い上げができていないのではないかと考えられる。

今年度アンケートを実施する際には、対象として個人と法人のバランスをどのようにとるのか考えて、個人事業主の方からの意見も吸い上げてほしい。

〔事務局〕

前回のアンケートでは、回答の結果として個人事業主の方が少なかったという可能性もあるが、今回は対象者のバランスを考えていきたい。

〔中澤会長〕

ぜひ個人事業主の方も回答しやすい形で進めていただきたい。確かに、サンプリングとしては産業構造に従って対象者を出しているが、最終的な回答が個人事業主にお答えしていただけていないという形かもしれないので、そのあたりの改善をお願いしたい。

〔梶原委員〕

高知市の産業特性で付加価値が高いのが医療・福祉であるが、医療法人・社会福祉法人等は対象外か。

〔事務局〕

具体的な施策として支援を行う段階でどうかというのは今後の検討課題だと考えている。

〔梶原委員〕

高知市の経済センサスの従業者数の割合では、「医療、福祉」がかなり多いので、営利企業に限定するかどうかという点は検討してほしい。

〔岡林委員〕

参考資料3の昨年度のアンケート結果を見ると、回答者の業種は建設業が圧倒的に多い。

実際の高知市の事業所数では建設業が1割弱で、このアンケート結果については若干建設業関係のバイアスが掛かっている可能性があるということを踏まえてほしい。

今後、コロナ禍や原油・資材高騰といった喫緊の状況に対応する施策と、例えば5年後に向けた施策というように分けて施策を打つためにも、今後実施予定のアンケートの事業所の経営状況に関する設問については、ビジネスモデルのどの部分に影響が出ているかなどを問う具体的な内容にされてはどうか。

また、融資に関する設問では、新型コロナ関係でいわゆるゼロゼロ融資と言われる国と県の融資が来年4月から返済が本格化する状況等も踏まえ、設問内容を工夫されてはどうか。

〔吉田委員〕

融資に関するアンケートの設問は、漠然と「どうですか」と聞くよりも、「返済が始まるがどうしていくつもりか」というように具体的な項目を書いた方がより良い。

アンケートの設問項目について、DX や BCP, グリーン化・クリーンエネルギー化等の項目の優先順位をもう少し上げた方がよいのではないか。足元の状況の把握も大事だが、これからの社会の流れの中で重要となる項目については、行政から全面的に押し出して事業所の方々に方向性を示して意見を吸い上げる形がよいと思う。

プランについては、予算の問題もあると思うが、どのような施策を打てば市内の事業者の方々が幸せになれるかということを前面に出していけば、アンケートの回答率も上がるであろうし、回答の内容もより実際の経営に則したものになるだろうと考える。

〔事務局〕

アンケートの設問については、融資の関係も含めて、今後内容を検討させていただく。

なお、アンケートに回答いただいた事業者の中から数社に対して直接ヒアリングを実施する予定である。その結果を皆さんにフィードバックしたうえで、支援策の中身を検討・研究していきたいと考えている。

〔中田(陽)委員〕

商店街にあるような小規模な事業者は、現状かなり疲弊している。資金繰りの不安やインボイスの導入などの変化に対して、事業者は大きな不安を抱えているという点は伝えさせていただく。アンケートについては、そうした制度的に弱り切った事業者に寄り添うような、声を拾い上げられるような内容にしていきたい。

また、コロナ禍で飲食関係には手厚い支援があるが、物販の事業者は使える制度が何かないかと探している状況である。

〔事務局〕

戦略プランのベースのテーマとして、「事業者やそこで働く皆さんが幸せになるために」という点はあげていきたいと思っている。国からの財源等の動向も踏まえながら、プランに挙げる取組なども検討していくと思うので、ご協力をお願いします。

〔梶原委員〕

アンケートの調査項目について、可能であれば「小規模企業・中小企業が困ったときの相談先」に関する項目を一つ追加していただきたい。回答次第では、そこを通じて支援のルートを確保できるかもしれない。

〔事務局〕

調整をしたうえで、検討させていただく。

〔中田(由)委員〕

資料2の P10「■中小企業・小規模企業の課題分野」で、全体を通じて「地産外商」「外貨を稼ぐ」という見方があるが、地元で経済を回していくことも重要であり、そのあたりの施策をもう少し、前に押し出してもらいたい。

資料2のP3について、高知市の地域経済循環率で 90%台を維持とあるが、この数値はどのように捉えればよいのか。

〔事務局〕

地域経済循環率というのは、目安として 100%であれば地域内でお金が還流しているとなる。見方としては、100%を超えるものを目指していかなければいけないという点と、数字的には 1 兆という規模だが、その規模を大きくしていくという点がある。そのため、100%を追い求めるといよりも、地元の経済の規模感を大きくしていくことが重要だと捉えている。

〔中田(由)委員〕

戦略プランを考えていくにあたっては、事業所間で理不尽を感じないような、市民に寄り添った施策にしていきたい。

〔土居委員〕

資料2の P9に県の条例について記載しているが、県の方では昨年度末に指針を策定し、今年度から中小企業・小規模企業の振興に全庁を挙げて取り組みを進めている。高知市ともお互い協力しながら進めていきたい。

資料2の P10, 右下の「達成目標 KPI の設定」というところで、計画最終年度が総合計画や総合戦略の KPI という記載がある。戦略プランは5年後の計画最終年度の目標を立てずに、まち・ひと・しごと創生総合戦略や総合計画からもってくるということか。

〔事務局〕

KPI については、項目だけをまち・ひと・しごと創生総合戦略や総合計画と合わせていくという意味である。計画年次が違うため、戦略プランとしての目標数値を別途設定する予定である。

〔土居委員〕

昨年度県が作成した中小企業・小規模企業振興指針については、今年度第一回審議会を行い、指針全体の目標を設定した。この目標については、直近の令和5年度の目標と 10 年後の



目標という形で作っており、指針全体の目標としては、継続的な目標としての「事業所数」と、成長的な目標として「1 事業所あたりの付加価値額」を掲げている。また、県の施策の満足度について聞くためのアンケート調査の実施を予定している。15 の基本的な方向を定めているため、それぞれどういった個別の KPI が適切なのか、今年度末までに議論していきたいと考えている。

〔東牧原委員〕

個々の事業者の切実な思いがあるだろうと思うので、そうした生の声を聞いていく中で、我々のできることや具体的な施策が見えてくるだろうと感じた。

〔森本委員〕

コロナ禍で飲食業は大変悲惨な状況である。また、小規模事業者の方々の生の声を聴くと、生き残りをかけて異業種にチャレンジしているところもある。

〔中澤会長〕

まだまだ意見があろうかと思うので、次回の審議会までに、事務局には書面での意見聴取をしてほしい。本日出たご意見を参考に、プランの策定に向けて調整をお願いする。